
IR News 2020/2

JP-Manageco 2020年2月12日



2月初旬までに起きた出来事の中から、IR等に関連するニュースをピックアップしてお届けします。IR会議・取締役会・管理部門会議などで共有ください。

Index

- ポイント・マイレージの会計処理変更について
- ブラックロック、ESG投資重視鮮明化
- 東証市場改革、金融審議会案に東証コメント
- 村上氏 VS 東芝機械、TOBへ
- エリオット・キャピタル、ソフトバンクグループ株式を取得、株主還元等要求
- 株式分割・立会外分売

■ ポイント・マイレージの会計処理変更について

ポイント・マイレージの会計処理が2021年4月から変わります。ポイント発行企業さんは、2020年期中に、この変更への対策を検討してください。

【ポイント・マイレージの会計処理4月から変更】

2021年4月から、ポイント・マイレージ発行企業は売上から引かれる処理に変更される。これまで、ポイント・マイレージを発行する企業は、売上時に、売上計上+ポイント引当金を計上していた。しかし来年4月以降、IFURSなどに合わせ、売上からポイントを差し引

いた額を売上計上する会計処理に移行する。移行後は、一旦ポイント付与企業の売上は減少し、ポイント利用時に減額分が計上されることになる。

つまり、売上維持の為にポイントを顧客に使わせることが重要になる。ポイント付与の戦略に変更を行う必要があるかもしれない。

■ ブラックロック、ESG 投資重視鮮明化

ESG 投資が拡大しています。ぜひ一度、勉強会を行ってください。またいずれは、過度な株主還元（借入をして自社株買いをするなど）の実施について、機関投資家内でも評価の見直しがあると思います。株主還元水準、ROE 目標等について、社内の意見統一をお願いいたします。

【1月14日、ブラックロックはESG投資の強化を表明】

2017年3月、ブラックロックは、投資先へのレターで、以下の主旨を述べた。

1. 従業員の能力開発や生活水準の向上への積極的な投資を支持する。
2. 企業の持続的成長には ESG が不可欠。グローバル企業は進出先の地域に根差した存在であるべき。
3. 安易な株主還元よりも成長への投資を優先するよう求める。

この後3年が経過し、今年1月、ブラックロックは、気候変動への対処を求める投資家の団体、「Climate Action 100+」に参加した。さらに同社のラリー・フィンク会長は、資本主義の近視眼化を懸念しているとたびたび発言をしている。

■ 東証市場改革、金融審議会案に東証コメント

東証の市場改革についての審議会案が出ています。流通時価総額について、自社の数値を把握しておいてください。

流通時価総額 = 流通株式数 × 株価

流通株式数 = 上場株式数 - (役員所有株数 + 自己株式数 + 10%以上を保有する大株主の保有株式数)

【東証市場改革の金融審議会案】

2022年をメドに現在の4市場を3市場（プライム・スタンダード・グロース）に集約する。

新1部は、流通時価総額100億円を要件とするが、既存の1部銘柄はプライムに残れる、としたが、これに期限を設けることも検討（東証2月7日）。

2020年6月をメドに東証側の案作成

TOPIX構成銘柄を流通時価総額100億円以上に絞る（1部で100億円未満の企業は約300社）。

■ 村上氏 VS 東芝機械、TOBへ

旧村上グループが活発に動いています。「レノ」によるレオパレスに対する役員全員退任要求に続き、「オフィスサポート」子会社による東芝機械へのTOBが行われました。配当政策・株主還元政策・買収防衛策・ROE目標・投資計画・中期経営計画等、アクティビスト対策をご検討しておいてください。

【村上氏 VS 東芝機械、TOBへ】

2019年6月

東芝機械、買収防衛策を廃止。

2019年11月

東芝が東芝機械保有株、ニューフレアに対するTOBを発表、オフィスサポートは、N社の自社株買いを推奨。しかし東芝機械はその16%をTOBに応じ、100億円の特別利益を計上。

1月17日

オフィスサポート（旧村上ファンド系）・野村絢・エスグラントコーポレーションが東芝機械に対しTOBを発表。

現在の持ち株比率は11.49%。1月21日に開始通告し、44%まで保有比率を高めることを目指すとした。

1月20日

東芝機械は、社外役員による独立委員会の設置を発表し、オフィスサポートに対し、情報提供や検討期間の確保を要求。新株予約権を無償で他の株主に割り当てる措置を発表し、事前に対抗策を明らかにした。また、2月初旬に中期経営計画を発表する旨を公表。

1月21日

オフィスサポート子会社、シティインデックスイレブンスによるTOB開始（3456円）

1月28日

意見表明を留保。

独立委員会の意見表明を尊重。

意思確認・買収防衛策の為の臨時総会開催基準日設定

1月31日

第3四半期決算短信発表

2月4日

東芝機械は新中期経営計画を発表。2020年中の希望退職者応募し、200~300人の社員を削減。事業部制からカンパニー制への体制変更。構造改革・設備投資に300億円を投入。23年度までのCFから150億円を配当に回す。配当性向40%を目指す。

2023年度は売上1350億円営業利益108億円ROE8.5%を目標とする。

2021年3月期には特別配当に30億円。

2月7日

経営改革プランをHPに掲載

■ エリオット・キャピタルがSBG株式を取得、株主還元策など要求

世界「最恐」と恐れられるアクティビスト、ポール・シンガー率いるエリオット・キャピタルがソフトバンクグループの株式を取得、今後の攻防に注目です。

孫氏の過度な権限に伴うガバナンス問題、更なる自社株買いなど、日本を代表するIT企業の孫正義氏、CFOの後藤氏がアクティビストとどう対話するのか、注目されます。

【エリオット・キャピタル、SBG株式を取得、経営陣に対策要求】

エリオット・キャピタルは、SFGの3%程度に当たる25億ドル分の株式を取得した模様。すでに、SFG側に以下の要求をしたとされている。

最大200億ドルの自社株買い

社外役員の増員

ビジョンファンドの情報開示

エリオット・キャピタルは、サムソンなどにも出資しており、今後、SBGグループの子会社の持分を減少させ、組織再編を行い、自社株買いを実施するような提案をする可能性がある、としている。

■ 株式分割・立会外分売など

株式分割 2月7日発表分まで

権利最終	コード	市場	銘柄	比率	効力発生
6月26日	4519	東1	中外薬	1→3	7月1日
3月27日	3322	JQ	アルファG	1→2	4月1日
3月27日	9470	東1	学研HD	1→4	4月1日
3月27日	4923	東1	コタ	1→1.1	4月1日
3月27日	3918	東1	PCIHD	1→2	4月1日
3月27日	3835	東1	eBASE	1→2	4月1日
3月27日	3626	東1	TIS	1→3	4月1日
3月27日	3739	名セン	コムシード	1→2	4月1日
2月26日	1407	JQ	ウエストHD	1→1.3	3月1日
2月26日	6086	マザ	シンメンテHD	1→2	3月1日
2月26日	3387	東1	クルスHD	1→2	3月1日
2月26日	2726	東1	パルGHD	1→2	3月1日

立会外分売 2月7日発表分まで

実施日	期間	コード*	銘柄	市場	分売価格	割引率	予定株数	実施株数
-	2/18-2/25	3800	ユニリタ	JQ	-	-	100,000	-
-	2/13-2/18	3484	テンポイノベーション	東1	-	-	100,000	-
-	2/14-2/18	4599	ステムリム	マザ	-	-	1,700,000	-
1月29日	1/29-2/4	4446	Link-U	マザ	1,785	3.04	592,800	592,800
1月29日	1/29-1/31	4429	リックソフト	マザ	6,267	2.99	140,000	140,000